



こまえをこぼげる

# こまごなNEWS

VOL.79  
2025年01月号

発行:責任編集  
狛江市岩戸北  
3-18-8-701  
分かりやすい  
政治を伝える  
維新の会



# 本年11月いよいよ こまえみらいテラス (シン市民センター)がオープン



# 目の前の市民ひろば もオシヤレになって 生まれ変わります！

# シン市民センターオープンに向けた ミヤケ4つの仕事

新しい  
公共施設  
超楽しみ～



地方議員はよく、「この仕事、自分がやった～」と誇張して自慢しがちです。私もご多分に漏れず、自己アピールしたくてウズウズしているわけですが、「ココの部分はミヤケが市に働きかけて実現した成果なんですよ～」と発表させてください。そういうわけで、本年11月にオープン(予定)、現在は市役所横で工事中のシン市民センター(名称:こまえみらいテラス)に関して、昨年までミヤケは下記の4点に問題意識を持ち、**議会一般質問等(※)**で具体的に狛江市に働きかけてまいりました。



**1** 今どきの公立施設は、子どもが大騒ぎしても大丈夫な子ども向け図書スペースが普通でしょ  
(※令和2年第一定例会、令和4年第3定例会)

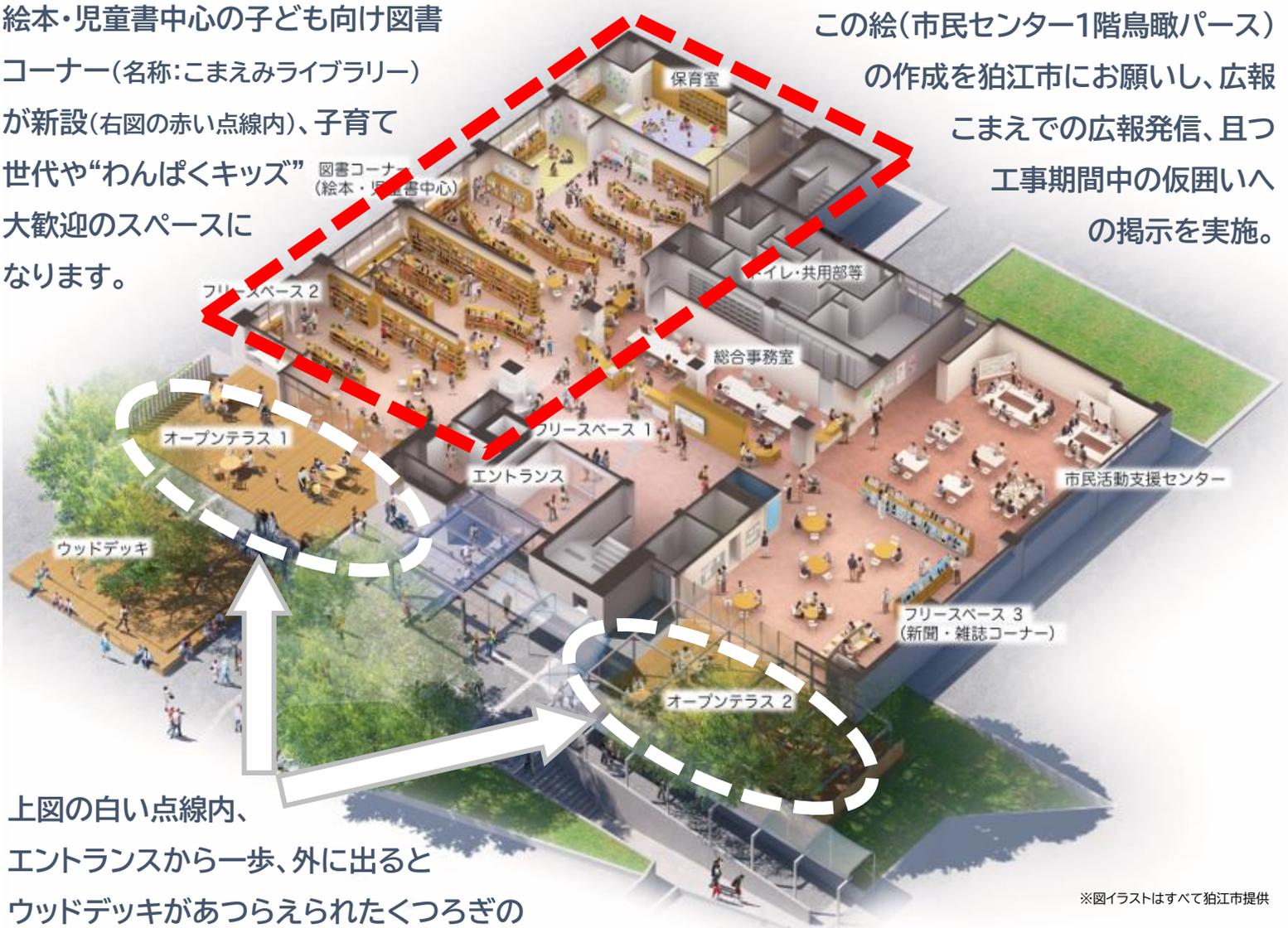
**2**

そもそも、新施設がどういう中身なのかを市民にお伝えしていくためにわかりやすい絵が必要です  
(※市長との打合せ時に申し入れ)



絵本・児童書中心の子ども向け図書コーナー(名称:こまえみらいブラリー)が新設(右図の赤い点線内)、子育て世代や“わんぱくキッズ”大歓迎のスペースになります。

この絵(市民センター1階鳥瞰パース)の作成を狛江市にお願いし、広報こまえでの広報発信、且つ工事期間中の仮囲いへの掲示を実施。



上図の白い点線内、エントランスから一歩、外に出るとウッドデッキがあつらえられたくつろぎのオープンスペースが広がります。また、施設内スペース壁面はガラス張りです。内と外との一体的な景観が誕生します。

※図イラストはすべて狛江市提供

**4**

せっかく新しい施設できるなら、目の前の市民ひろばもおしゃれにデザインしないとダメじゃね  
(※令和4年第四定例会、令和5年第二定例会)



市民ひろばの樹木をとり囲んでいた植栽帯は撤去され、あらたにウッドデッキを新設、こまえみらいテラス前広場として一体的に整備されます。



**3** カフェスペースでドリンク片手に読書や静かに音楽を楽しめるリラックス空間がほしいな  
(※逐次、市に申し入れ)

